



講演の様子(講師練木)

レーダ警報器の説明をする
装置開発部の洪葉技術員(左)

「製造業のための防災対策セミナー」 大盛況にて終える

4月27日、本社・工場にて「製造業のための防災対策セミナー」を開催いたしました。当日は地元群馬県内より、約60社、80名の製造業等の責任者、新聞記者の方、県会議員の方が参加され、企業防災に対する関心の高さがうかがえました。

はじめに、社長上澤より、「電話機の明星から、さまざまな技術で社会に貢献する明星」への変化と、その技術を地元に戻元していく開催主旨の挨拶がありました。

続いて常務小谷、講師練木がそれぞれ「製造業に求められるBCP(ビジネス・コンティニュイティ・プランニング:災害時の事業継続計画)」、「緊急地震速報とその活用について」と題して講演をいたしました。

その後、参加者は6班に分かれ商品展示ブースへ移動し、開発を担っている若手技術者から製品の説明を受けました。説明者は参加者からの質疑に対して誠実に応答し、大きな拍手をいただきました。

大好評の中、無事セミナーを終えることができました。参加者の皆様、お忙しい中、まことにありがとうございました。

移動気象計とナウキャスト計測震度計
展示風景

平成19年度砂防学会研究発表会に 移動気象計とナウキャスト計測震度計を展示！！

5月23・24日の両日、福井市で平成19年度砂防学会総会及び研究発表会が行われました。明星電気は「砂防情報通信技術研究会」の一員として、「移動気象計」と「ナウキャスト計測震度計」を展示し、砂防学会員へ向けて商品情報の発信を行いました。

砂防学会には、全国の大学研究者のほか、砂防実務を行う国土交通省や農林水産省、地方自治体、コンサルティング会社などが参加し、研究成果の発表や活発な議論が行われました。

明星電気は最新の研究成果を見据え、現在まで蓄積した環境計測技術を基礎として「災害に備える社会」へ向けた商品を作っています。



堀川理事(写真右)ご視察の様子



JAXA 堀川理事、伊勢崎工場をご視察される

5月16日、JAXA堀川理事が、当社伊勢崎の本社・工場をご視察されました。堀川理事より、「以前から明星電気に興味が有り、工場を訪問した」旨のご挨拶を頂き、当社社長上澤から会社概要、担当者から宇宙搭載機器の実績と現在の受注状況等をご説明いたしました。

昨年設置し、徐々に拡充している商品展示ブースをご案内し、宇宙関連製品、気象・地震観測製品、特機製品・情報通信製品の説明を行いました。また、クリーンルームのご視察の際は現在開発中の、JEM搭載用全天X線監視装置センサ部プロトフライトモデルの開発、GOSAT搭載技術データ取得装置の開発、GOSAT搭載モニタカメラの製作、WINDS搭載モニタカメラおよびカメラの画像等をご覧いただきました。堀川理事からは「安価で、小型・軽量・省電力なコンポーネントを開発し、いろいろな、衛星に搭載出来るように推進して欲しい。」とのご講評を頂きました。

今後、明星電気はご視察の際のご意見を参考に、さらに役立つ技術を生み出していきます。

堀川理事(写真右)とJAXA有川氏(写真左)、中村氏(写真中央)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。